

# 2010年度あきる野市予算説明される

# くらし優先の予算へ切りかえを

日本共産党あきる野市議団

2月23日から2010年度第1回定例市議会が開催されます。定例会開催を前に2月4日、日本共産党市議団に対し、市側から2010年度予算の概要と議案の説明がされました。その内容をお知らせします。

## 一般会計規模は285億9643万8千円

**郷土の恵みの森事業関連予算**  
計9億4088万円

### 用地買収に8億8472万円

バブル期、当時秋川市長だった臼井市長が、借金して菅生の山をあきる野市土地開発公社に買いあさらせました。その後思うように工場誘致が進まず、計画は破綻。借金の利息を毎年1億円以上払ってきました。土地開発公社の健全化として、市が公社から5カ所の山（合計約31億円）を購入することになりました。こうして買い取った山を「郷土の恵みの森事業」と名づけ、環境都市と銘打って事業をすすめています。昨年から買い戻しがはじまり、新年度は8億8472万円が計上されています。

### 森林レンジャーに2000万円

尾根道路の補修・景観整備費や林道の整備に615万4千円、森林レンジャーを使うために2000万円なども、新年度は予算計上しています。

開発はせず、お金はかけないという説明をしていた郷土の恵みの森事業ですが、上記の山の購入費と事業基金を含めると、9億4088万3千円が計上されています。

**都市計画マスタープラン策定**  
1455万3千円

計画的な土地利用の推進として、初雁地区（秋川インター東側）・南小宮（草花小前）・秋川高校跡地周辺などを市街化区域にするため、コンサルタントに支払う委託料として1455万3千円を計上します。



**五日市物語製作事業** 2000万円

緊急雇用対策として、五日市の偉人などの映画をつくる、民話を集めて本にするなどして町おこしをする計画です。

**れんげ畑で景観保全** 20万円  
**ごみの減量推進** 25万円

田園景観保全事業として、秋川沿いの小川久保・東郷前・横沢入り・南郷・引田・下代継・小庄の7箇所にれんげ畑を作ります。また、ごみの減量のために落ち葉を堆肥化する拠点を、町内会・自治会の協力も得て10箇所程度設置します。

**東秋留駅にエレベーター設置など**  
4750万円

かねてより改善の要望が多かった東秋留駅のスロープに代わるバリアフリー事業として、エレベーターを設置する計画です。また、武蔵引田駅には新たにスロープを設置します。費用は国・JR・都・市がそれぞれ分担し、市の予算は4750万円です。

**市営住宅建てかえ** 3930万円

老朽化している市営住宅を一箇所にとり替えて、建てかえる計画です。現在の市営住宅は築30年を過ぎているものもあり、耐震性などに不安があります。住民の方の理解を得て、建て替えを進めていきます。

## くらし優先の予算へ！

市民の収入が落ち込み、市の収入も減っている今、真っ先にすべきことは市民の暮らしを守ることです。日本共産党あきる野市議団は、そのことを訴えてがんばります。みなさんのご意見をお聞かせください。

### 2009年 市民意識調査

質問：市に納めた税金に対して、現在受けている行政サービスが妥当であると思うか。

回答年度	回答者総数	そう思う	どちらかと言えそう思う	どちらかと言えそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
H21	1032	3.1%	15.2%	23.1%	35.7%	20.2%	2.8%
H20	1159	3.0%	12.7%	24.1%	38.4%	18.9%	2.9%
H19	1147	3.1%	12.9%	22.2%	39.6%	19.8%	2.4%

平成21年度 市民満足度・意識度調査より

— 法律相談 —  
2月25日（木）午後1時半～3時  
予約が必要です。市議団までご連絡ください。

日本共産党 [jcp-akiruno.com/](http://jcp-akiruno.com/)  
あきる野市議団ニュース

158号 2010.2.21 Tel・Fax 558-1134  
日本共産党あきる野市議団は以上の見解を発表しました。市民のみなさんの御意見をお聞かせください。